

港まちづくりタイムズ

築港・天保山 地域ブランドプロジェクト と大阪港開港150年記念 特集



発行者：港区産官学連携会議 「港区CRテーブル(港区役所、(一社)港まちづくり協議会大阪、大阪市立大学創造都市研究科小長谷研究室)」
発行日：2017年9月30日 編集事務局：(一社)港まちづくり協議会大阪 (大阪市港区築港3-7-15 港振興ビル 206A 06-6572-0017)

築港・天保山を もっと面白く!



港区長
筋原章博

今年4月に港区長に就任いたしました、筋原章博(すじはら あきひろ)と申します。
この3月末までは隣の大正区で区長を7年務め、それ以前は20年以上にわたり大阪市港湾局で勤務してまいりました。社会人生活の多くの時間を港区で過ごしてきましたので、故郷に帰ってきたような気持ちで港区長を喜んで務めさせていたいただいております。
港区は、西から、築港・天保山には年間250万人の集客力を有する海遊館、朝潮橋には年間100万人は訪れる大阪中央体育館・大阪プール、弁天町には年間870万人の人が集まるオークがあり、
しかし、港区の人口は減少傾向にあり人口流出超過も止まっていらない衰退モードにあります。
衰退しているまちでは「人とお金に素通りされる」「人とお金が流出していく」という特徴があります。港区も海遊館・中央体育館・オークといった集客ポイントがあり地下鉄で結ばれているにもかかわらず、人とお金に素通りされ流出してしまう状況です。
「素通りされる」のは、足を止めて滞在しなくなる面白い店や場所が少ないから。「流出していく」のは、店や企業が操業しやすい環境が失われつつあるからです。
特に築港・天保山エリアは人口流出が続いており、この傾向に歯止めをかけたいと思っています。

同エリアは「島」の形をしていて、大集客施設の海遊館と天保山ハービーレッジがあり、岸壁には外航客船も着岸し観光客も多く訪れます。赤レンガ倉庫にはクラシックカーミュージアムもあり、夕陽や港の風情ある中央突堤もあって、この場所にしかない素材が豊富です。これらの素材を活かしてエッジの効いた店や場所を増やしていくことで、築港・天保山は再び往年の活気を取り戻すことができると考えています。
今年は大阪港開港150年目にあたり、多くの記念事業で盛り上げてまいります。これを一過性のイベントに終わらせたくない、これを一過性に循環させる「事業として継続していくこと」が大切と思っています。
港区では2015年から、地域活性化を目指した産官学連携会議「港区CRテーブル」を、一般社団法人まちづくり協議会大阪・大阪市立大学・港区役所で協働して立ち上げ、様々な取り組みを進めてきています。
「大阪Sea級グルメレシビ」の作成では、今後、築港の飲食店で活用できるレベルを目指し、店の営業力強化の一助となるべくみんなで奮闘中です。
海遊館から帰る人の流れを受け止める仕掛けづくりでは、楽しく「夜遊び」できる店を巡る「天保山ナイト(仮称)ツアール」を企画。
以前より取り組んでいるEV活用の実証実験は今後も継続し、まちの魅力あるスポットを作ると同時にそれらを回遊できる環境づくりも進めていきます。
産官学の連携パワーで、面白い人が集まり面白いことを実現できるまちに変わっていく築港・天保山。是非これからも注目して訪れてみてください!

今年の「第10回天保山まつり」は特別豪華「大阪港開港150年祭」と合同!

■いまや大阪を代表する市民手作りの公民連携のまつりとなった「天保山まつり」ですが、今年の「第10回天保山まつり」は一生に何度もない、特別な祭り!「大阪港開港150年祭」と合体となり、また前夜祭もあり28日・29日の2日間と豪華です。是非、ご親戚・ご友人にもお声掛けいただき、一緒にお楽しみください!(天保山まつり概要)大阪の海の玄関口である築港・天保山エリアがこれまで果たしてきた交易・交流の場としての役割、歴史的価値を再発見し、わがまちへの愛着を深めるとともに、訪れたいエリアとしての魅力を創出・発信し、まちの活性化を図ることを目的として開催します。第10回を迎える今年、大阪港開港150年祭のフィナーレにふさわしい史上最大のスケールで繰り広げられます。(1)天保山岸壁から(2)中央突堤エリアにいたる水辺には、帆船&働く船が大集合するとともに、音楽ステージや海と港のグルメで訪れる人たちをおもてなしします。そして、(3)赤レンガ倉庫アートスクエアでは、安床ブラザーズインラインスケートのパフォーマンスをはじめ、音楽ステージやCASOでは、柳原良平展及びたいぞうによるライブペインティングなど、アートに触れる空間を提供します。「見る、聴く、食べる」の三拍子がそろった魅力的なコンテンツがいっぱいの天保山まつりにぜひお越しください!(詳細、申し込み等は公式サイトへ=>) <http://tempouzan-matsuri.com/>

- 10月28日(土)第10回天保山まつり前夜祭【ぼんちおさむ船上ライブ!】
前夜祭スペシャルゲスト>ぼんちおさむ(OSAMU BAND)によるサンタマリア号トワイライトクルーズでの船上ライブ!17時30分西とはと出航(18時30分帰港)演奏時間1時間程度を予定。トワイライトクルーズに乗船された皆さまは乗船券のみでおさむさんのライブが聴けます。乗船券はサンタマリアチケット売り場で購入してください。
- 10月29日(日)第10回天保山まつり・大阪港開港150年記念祭当日(午前9時30分~午後5時)
(公式サポーター等)トミーズ健、斉藤雪乃、月亭八光、たいぞう、女と男、リルガーデンほか

- (第1会場)【海遊館横サンセット広場~マーメイド広場】
【1】「サンセットステージ2017」(1)開港150年式典。(2)各種船のイベント。(3)龍馬とおりのなりきりコスプレコンテスト。
【2】「マーメイド広場」は●食の祭典!●(1)産官学の「大阪Sea級グルメ」。(2)大阪湾「天然しらすのクロック」、泉ダコを使った「たこクロック」。(3)「みなとくもん」ごちそう市場、海のフードコート。(4)淀川の天然鰻、大起水産のお寿司。

- (第2会場)【中央突堤ダイヤモンドステージエリア】
「ベイサイド音楽祭」大阪港で最も夕日が美しい場所「ダイヤモンドポイント」にステージを設け「ベイサイド音楽祭」を開催します。名物タレントの出演や地元港区の中高吹奏楽部の競演を、最高のロケーションでお楽しみください! (1)オープニング(12時20分~12時35分)レゴ菱垣廻船復元プロジェクト完成披露目会。(2)餅まき(12時35分~12時45分)レゴ菱垣廻船セレモニーの際紅白もちはきは圧巻です。(3)音楽会(12時50分~13時35分)。(4)T-1グランプリ(13時40分~14時25分)大正区の歌うまNO.1を決定する「T-1ライブGP」が、天保山まつりに登場!T-1出身の実力派アーティストが迫力のステージを披露します。(5)筋原区長(1曲)+青木美香子(ドラムカーズ)。(14時30分~14時50分)<スペシャルゲスト>筋原章博「歌う区長」こと筋原現港区長(前大正区長)も出演!前区長時代に大正区のために作詞作曲したご当地ソング「大正リバーサイド物語」など、音楽を通じた地域活性化に取り組む「歌う区長」が、T-1アーティストと競演!(6)ぐっさんステージ(15時~16時)あの人気者「ドンドコドン山口智充」が出演!(7)市岡高校吹奏楽演奏ほか(15時20分~16時)関西を代表する実力派の演奏。(8)クローキング(16時30分頃)。(9)読売ファミリーウォーキングイベントゴール地点。(10)ミニ地下鉄に乗れる。(11)青木美香子 with ドラムカーズ。(12)予定されている出演アーティスト(時間未定)andRE(アンドレ)、ルア、西村加奈。(13)予定されている学校(時間未定)市岡高校、港高校、築港中学校、港南中学校。

- (第3会場)【赤レンガ倉庫アートスクエア】
(1)大阪シティウォークオープニング(協力:大阪市経済戦略局)。(2)大阪シティウォークスタート【時間帯は調整中】。(3)オープニング。(4)オープニング大阪ジュニアバンド エイサー/和太鼓演奏。(5)安床(やすとこ)ブラザーズインラインスケートパフォーマンス。(6)全国赤レンガPR出店。(7)菱垣廻船地物産市。(8)GLIONミュージアムメインストリート無料開放(10時~16時まで)。(9)重松みか オペラのタペin 赤レンガステキハウス。(10)美術館【CASO】柳原良平+たいぞう作品展。●アンクル船長と大阪南港●アンクルトリスで有名なイラストレーター柳原良平氏。船や海を題材としたイラストや切り絵、油彩画など様々な作品を発表しています。どこか懐かしい作品をお楽しみください。

- (第4会場)【築港・天保山まちなかエリア】
(1)フリーマーケット「港商店街」。(2)紙芝居「港商店街」。(3)スタンプラリー抽選会場景品受け渡し「港商店街」。(4)フリーマーケット(港区社会福祉協議会一般参加)「築港高野山」。(5)バザーと喫茶(築港地域女性会)築港しあわせ食堂「築港高野山」。(6)ライブ演奏「築港高野山」【ライブタイムスケジュール】11:00 ねこじやらし、11:30 キヨリとよしお、12:00 マドロス楽団、12:30 脳トレ体操、13:00 ラスクラテ、13:30 HORIC(仮)、14:00 築港~ズ、14:55 ブルース299。
(7)お茶席「港住吉神社」。

みんなで盛り上げよう! 2017年は大阪港開港150年

編集後記: 第4号は5月におこなわれました産官学連携会議の記録や市大生による地域ブランド研究(大阪Sea級グルメ、スーパーコンシェルジュ、港スイーツ)についてご報告。★本タイムズのバックナンバーは(一社)ホームページ <http://minatomachi-o.jp/> をご覧ください。港まちづくりタイムズ第4号 発行者: 港区産官学連携会議「港区CRテーブル(港区役所、(一社)港まちづくり協議会大阪(代表理事: 重山英樹)、大阪市立大学創造都市研究科小長谷研究室)」、発行日: 2017年9月30日、編集事務局: (一社)港まちづくり協議会大阪。本媒体は文部科学省のCOCプロジェクト事業「大阪の再生・賦活と安全・安心の創生をめざす地域志向教育の実践」の予算を使用しています。

産官学連携会議 (港区CRテーブル) を開催



2017(平成29)年5月26日(金)

大阪市港区、大阪市大学(COCプロジェクト)、港まちづくり協議会大阪など地元まちづくり市民団体は、地域活性化の実をあげるため、文科省の支援のもと、行政、大学、企業・まちづくり市民団体などの協働のための研究や情報交換、アイデアや戦略を話しあう、産官学連携会議「港区CRテーブル」を開催しています(CRとは地域再生の意味です)。「昨年は天保山まつりや地域文化資源の調査、昨年はEV交通研究を行いました。今年、5月26日に港区役所区長室で開催し、市大生の地域ブランド研究の成果(次頁より掲載)を発表、筋原区長の他、民間からは丸岡宏次大阪埠頭(株)社長などからアドバイスを頂きました。

大阪市大生による地域ブランド研究1 食ブランド「大阪 Sea 級グルメ」

開港 150 年記念

地域食ブランド公式=Aベース料理 × B地域素材

(堀口泰聖、前田嘉哉)
指導松本英之 T A

松本 T A、堀口泰聖、
前田嘉哉チーム作製の
ポジショニング図
(位置付け地図)

ご当地グルメ種類分析
麺類 38、ご飯もの 24、
粉もの 15、揚げ物 10 等
→麺類やご飯もの(カレー)
の開発がベター
(原価率、調理が容易等)

地域素材マトリックス	和歌山	泉州玉ねぎ	泉佐野
湯浅醤油	和歌山	泉州黄玉葱	田尻町
三昇ソース	丹波町	大阪なす	富田林
淡路の産塩	淡路島	泉州水なす	泉佐野
大黒ソース	福島区	大阪ねぎ	泉南
カネカサンスライス		泉州キャベツ	泉佐野
総実サラダ油(大阪産)	岡村製油	大阪えだまめ	八尾
泉だこ	田尻町	大阪きゅうり	富田林
泉佐野しらす	泉佐野	泉州さといも	泉佐野
べっ甲しじみ	大阪市漁協	勝間南瓜	玉出町
ウノシノタ(シタビラメ)	岸和田市	三箇牧トマト	高槻
イガミ	和歌山県	大阪いちじく	東大阪
大阪ウメビーフ	堺	能勢ぐり	東大阪
犬鳴豚	泉佐野	大阪ぶどう	羽曳野
近江鶏	滋賀県	大阪もも	岸和田
紀州うめどり	和歌山県	大阪みかん	和泉



大阪市立大学COCプロジェクト・CR副専攻「アゴラII」授業の小長谷教授・松本T A担当回では、2017年度に、4名の学生が中心となり、築港・天保山の新しい地域ブランド育成のための研究をおこないました。うち堀口泰聖・前田嘉哉チームは5回の授業でマーケティングの観点から地域素材型ブランドがベース料理と地域素材に分解できること、ベースとしては焼きそば・カレー、これに大阪の地域素材(しらす、泉たこ)をかけ合わせるモデルを考えました。4/29 カレー EXPO 調査。5/26 CRテーブル。8/10 第1回作製会。9/19 第2回作製会で区長、大学副理事長、大阪府・市漁連の担当者様、希望のカフェオーナー様等にご試食頂きました。大葉味と蛸味に人気があり、第2回作製会では永長千晴(蛸担当)と商学部の庄司智紀君も参加。

大阪市大生による地域ブランド研究2 外国文化・おもてなしカブランド

スーパーコンシェルジュ(優秀案内者)のモデル =世話好き(ホスピタリティ) × English

(永長千晴)

【1】築港・天保山は、元々国際的な港町でもあり、US Jスタッフが住んでいるなど「外国文化」も地域資源といえる。その代表例で、築港にある(観覧車南側、海岸通り結婚式場西横の)トリップアドバイザーで、2015年まで歴代大阪1位、2016年は2位の人気カフェ「クマカフェ」を調査した。

【2】さらに、他区の事例も参考に、大阪の「これからのインバウンド観光の長期化のために必要なキー人材像として「スーパーコンシェルジュモデル(ホスピタリティ × 英語能力)」を提案したい。このオーナーもその例だと思います。

【事例1：クマカフェ(大阪市港区築港4-4-15)オーナーのポール・ウィットンさん】(1) オーストラリア出身で、クルージング船のパフォーマーとして世界各国を周ったのち、US Jのパフォーマーになり、その後大阪人の気質に親しみを感じ、大阪に留まった。クマカフェはポールさんが運営している撮影スタジオの待ち時間のために作られたという。(2) とても話好きで、訪れる旅行者に大阪の観光地情報、アクセスの仕方などとても丁寧に説明されていた。観光客にとっては休憩もでき、英語で観光案内もしてもらえる最高の場所だ。このインバウンド観光客へのホスピタリティ溢れる接客のおかげで、外国人の集まる大人気カフェとなった。

【事例2：福島区のゲストハウスJ-HoppersのスタッフYさん】人と話すのが好きで、8年間通い詰め英会話をマスター、ゲストハウスでは観光客を食事や大阪見学につれていく。



大阪市大生による地域ブランド研究3 築港・天保山「スイーツ」を考える

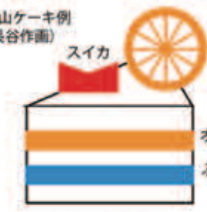
(中村真由)

あなたは大阪の港スイーツといえば何を思い浮かべるだろうか。どこか特定の店のスイーツを頭に思い浮かべる人もいるかもしれない。だが、ほとんどの人は具体的なスイーツを頭に思い浮かべるに至らないだろう。なぜなら、大阪の港スイーツといったらコレ! というような決まったものが今までは無かったからである。そこで、今回は港区にピッタリなスイーツを提案する。

①色 海を連想させる青色、そして夕日を思い出させるオレンジ。この2色は港区のシンボルカラーである。港区のスイーツに、この二色の要素は欠かせない。紫芋のアントシアニンという色素を用いれば、着色料を使用せずに青色を表現することができる。

②サイダー 大阪には有名な「大阪サイダー」がある。「大阪サイダー」や「ラッキーサイダー」を販売する大川食品工業(株)は港区でこのサイダーを製造している。すなわちサイダーは港区にゆかりのある飲み物なのである。

③バナナ 日本に輸入されるバナナの玄関口が大阪にあることは案外知られていない。しかも、その玄関口が港区の大阪港なのだから驚きである。日本にはフィリピンやエクアドルをはじめとしたさまざまな国からバナナが輸入されている。輸入されるバナナは大阪港から日本に入り、その後特殊な倉庫の中で5日から7日ほど保管され、その間に緑色のバナナからおなじみの黄色のバナナになるのである。



研究第1回目! (8月10日)



研究第2回目! (9月19日審査会)



(特別レポート) 第28回大阪港カッターレースへ挑戦の記!

ギラギラと太陽が照り付ける中、7/16(日)に第28回大阪港カッターレースが開催されました。オールを使用する手漕ぎボートの大会で、今回は大阪港開港150周年とあいまって参加チーム数が史上最多となり、大変な盛り上がりを見せました。大阪市立大学からも学生8名(堀口泰聖、前田嘉哉含む)が参加し、開港150周年記念賞と40位賞を頂きました。学生たちは本大会のために事前練習を行うなど、意を決して本番に臨みましたが、当日は、他チームの熟練した技術と、素晴らしいチームワークに圧倒される結果となりました。リーダーの前田は「思っていた以上に難しかったです。来年はもっと練習して頑張りたいです。」と悔しさをにじませました。試合の合間には、筋原新港区長の歌、フラダンスのステージもあり、大いに会場を沸かせました。協力してくださった多くの方々のおかげで、太陽にも負けない熱い思い出となりました。開港150周年イベントはまだ開催されますので、ぜひ足を運んでみてください! (文責:永長千晴)

